【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和5年3月31日(2023.3.31)

【国際公開番号】WO2020/196602
【出願番号】特願2020-539114(P2020-539114)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　5/18(2006.01)
Ｂ３２Ｂ 27/32(2006.01)
Ｂ３２Ｂ 27/00(2006.01)
Ｃ０９Ｊ　7/38(2018.01)
Ｃ０９Ｊ　7/24(2018.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　5/18　　ＣＥＳ
Ｂ３２Ｂ 27/32　　Ｅ
Ｂ３２Ｂ 27/00　　Ｍ
Ｂ３２Ｂ 27/00　　Ｌ
Ｃ０９Ｊ　7/38
Ｃ０９Ｊ　7/24

【手続補正書】
【提出日】令和5年3月23日(2023.3.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
主配向軸方向及びそれに直交する方向の１４０℃での熱収縮力が、共に４００ｍＮ以下であり、前記主配向軸方向およびそれに直交する方向のヤング率が、共に１．８ＧＰａ以上であり、前記主配向軸方向及びそれに直交する方向の、熱収縮力が２０ｍＮ以上となる際の温度が、共に１１６℃以上であり、少なくとも片面の最大突起粗さＳｔが２０００ｎｍ以上である、ポリプロピレンフィルム。
【請求項２】
前記主配向軸方向及びそれに直交する方向の、１２０℃での最大点応力が、共に８０ＭＰａ以上である、請求項１に記載のポリプロピレンフィルム。
【請求項３】
前記主配向軸方向の厚みムラが６．０％未満である、請求項１または２に記載のポリプロピレンフィルム。
【請求項４】
前記主配向軸方向に直交する方向の１４０℃での熱収縮力が９５ｍＮ以下である、請求項１～３のいずれかに記載のポリプロピレンフィルム。
【請求項５】
前記主配向軸方向に直交する方向の、１２０℃でのヤング率（ＧＰａ）に、フィルムの厚み（μｍ）を掛け合わせた値が１．５（ＧＰａ・μｍ）以上である、請求項１～４のいずれかに記載のポリプロピレンフィルム。
【請求項６】
フィルムの厚みが６μｍ以上である、請求項１～５のいずれかに記載のポリプロピレンフィルム。

【請求項７】
２層以上の積層構成であって、少なくとも１層は、冷キシレン可溶部（ＣＸＳ）が３．５％以下であるポリプロピレンを５０質量％以上１００質量％以下含有する層である、請求項１～６のいずれかに記載のポリプロピレンフィルム。
【請求項８】
２層以上の積層構成であって、少なくとも１層は、示差走査熱量計ＤＳＣで２５℃から２５０℃まで２０℃／ｍｉｎで昇温し、ついで２５０℃から２５℃まで２０℃／ｍｉｎで降温したときの、結晶化ピーク温度（Ｔｃ）が１１０℃以上である、請求項１～７のいずれかに記載のポリプロピレンフィルム。
【請求項９】
請求項１～８のいずれかに記載のポリプロピレンフィルムの少なくとも片面に、粘着層を有する、粘着フィルム。
【請求項１０】
請求項１～８のいずれかに記載のポリプロピレンフィルムを用いた離型フィルム。